

新型コロナ生活が日常となって丸3年が経ち、足掛け5年目になったその年頭にあって

令和元年11月に中国の武漢に始まる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、翌年1月より世界を巻き込み始め、パンデミックが世界中を席卷し、そのために3月になるとイタリアはじめヨーロッパ各国がロックダウンに入るなど、世界中を文字通り悲壮感漂うパニックに追い込んだのはご承知の如くです。

それが丸3年経っても未だ取まらずその波状攻撃の中で、日本は今なお第8波の最中にいます。

しかし、そのウイルスの感染性・毒性は大きく良い方向に変わってきておりますので、私達人間の社会生活もそれ相応に大きく変わっていかねばならなくなっております。

幸いウイルス自体の遺伝子変異と共にその毒性即ち死亡率は大きく低下してきていること、感染力も予防対策を守りさえすれば感染リスクは心配するに足らないということが分かってきたこと、従って日常生活を営みながら並行して予防対策が十分に可能であるので、今や COVID-19 も恐れるに足らずという状況になりました。

但し、適正な対コロナ予防対策をしていれば、という前提条件が付きますので、油断大敵であることはまだ続いておりますのでこの点誤解のないようにお願いいたします。

これまでのノウハウを忘れずに、症状があってもなくても、気になることがあれば互いに遠慮することなく同僚・上司とのホウ・レン・ソウを守ること、そして症状等の心配があれば遠慮することなく勤務を休むこと、お互い様という姿勢で譲り合うこと、これらがいつも繰り返しているポイントになります。

スタッフ皆さんの、臨機応変・柔軟な対応、が試される時期に入っております。

感染予防対策の基本は、いつも言うような下記です。

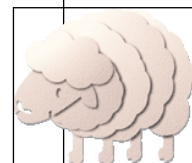
- 1, これまでの予防対策の基本（マスク・換気・黙食・手指消毒等）を守っていればまず感染しませんし、万一本人が感染したとしても、他人に感染させる心配はないことが分かってきています。
- 2, 周りに感染者があふれていますので県外移動云々は意味ありません。不特定多数と接触する場合、友人でも久しぶりに会う場合、これに対策をすることです。この場合には「2日ルール」、「3日ルール」、「5日ルール」のどれかをリスクに応じて適用することになりますので同僚・上司へのホウ・レン・ソウが必須です。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。  
私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。  
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見ははっきり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。